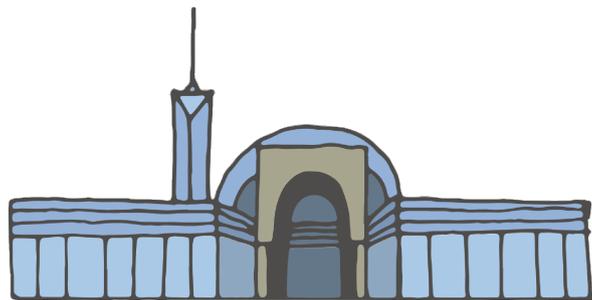


福岡市博物館について



令和7年3月現在

1. 博物館の性格

(1) 博物館法

- 「博物館」の定義 … 第二条

歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する資料を収集し、保管（育成を含む。以下同じ。）し、展示して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの資料に関する調査研究をすることを目的とする機関

博物館の事業 = 資料の収集 / 保管（保存と収蔵） / 展示 / 教育普及 / 調査研究
資料のデジタルアーカイブ構築と公開（←博物館法改正R05.4施行）

(2) 福岡市博物館条例

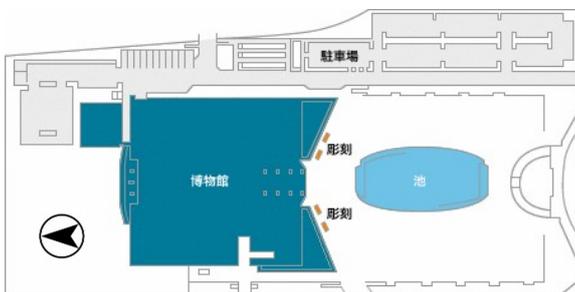
- 設置の目的…（第1条） 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため
- 事業…（第2条）
 - (1) 歴史、民俗等に関する資料（以下「博物館資料」という。）を**収集し、保管し、及び展示**すること。
 - (2) 博物館資料に関する**調査及び研究**を行うこと。
 - (3) 博物館資料に関する**展覧会、講演会、講習会等を開催し**、及びその**奨励**を行うこと。
 - (4) **施設の利用**に関すること。
 - (5) 前各号に掲げるもののほか、博物館の設置の目的達成に必要なこと。

(3) 福岡市が設置した博物館法上の博物館（登録博物館）

- 福岡市美術館（中央区大濠公園）昭和54（1979）年開館
- 福岡市博物館（早良区百道浜）平成2（1990）年開館
- 福岡アジア美術館（博多区下川端町）平成11（1999）年開館
- 福岡市埋蔵文化財センター（博多区井相田）昭和57（1982）年開館 *平成26年博物館登録

美術館	収集対象：美術作品その他の美術に関する資料
博物館	収集対象：歴史、民俗等に関する資料
アジア美術館	収集対象：アジアの美術作品その他の美術に関する資料
埋蔵文化財センター	収集対象：発掘調査等で出土した考古学的資料

2. 施設の概要



【規模】

敷地面積：50,648.80㎡ 建築面積：10,088.56㎡
 延床面積：16,920.62㎡ 構造/階数：SRC造/3階建

【事業費】（建設・開館時）

172億円：用地費 59億8千万円、建築費 70億2千万円
 外構費 18億4千万円、展示費 12億4千万円、
 その他 11億1千5百万円

【沿革】

昭和55年7月 博物館建設構想発表
 昭和57年4月 建設構想懇話会「郷土福岡にふさわしい博物館について」意見書提出
 昭和61年1月 建設場所を「百道埋め立て地第1工区」に決定
 昭和62年7月 起工式
 昭和63年12月 博物館竣工
 平成元年3月 アジア太平洋博覧会'89のテーマ館として活用
 平成02年10月 開館
 平成16年4月 市史編さん室を設置
 平成24年4月 教育委員会から経済観光文化局へ移管
 平成25年11月 常設展示室リニューアルオープン

【利用】

開館時間：9:30-17:30 月曜休館
 観覧料：一般200円／高大生150円
 中学生以下無料

【主要な館内施設】



3. 施設の特徴

(1) 周辺環境

- 福岡タワーへ続くサザエさん通りを介して図書館・百道浜中央公園に隣接する。

(2) 敷地・外構

- 南側…中央に大きな水盤のある緑の多い広場
- 北側…収蔵庫棟を増築する (R08竣工予定)
- 東側…収容力のある駐車場 (一般車両181台・大型バス10台)

(3) 建物

- 深い軒のある正面玄関
- フロア中央の大きな吹き抜け
ユニークベニユ-活用や多彩なイベント会場として活用している。
- 建物内に収蔵庫等、文化財の劣化を回避する施設・設備を備える。
- 施設の竣工後約35年が経過しており、抜本的な老朽化対策を必要としている。

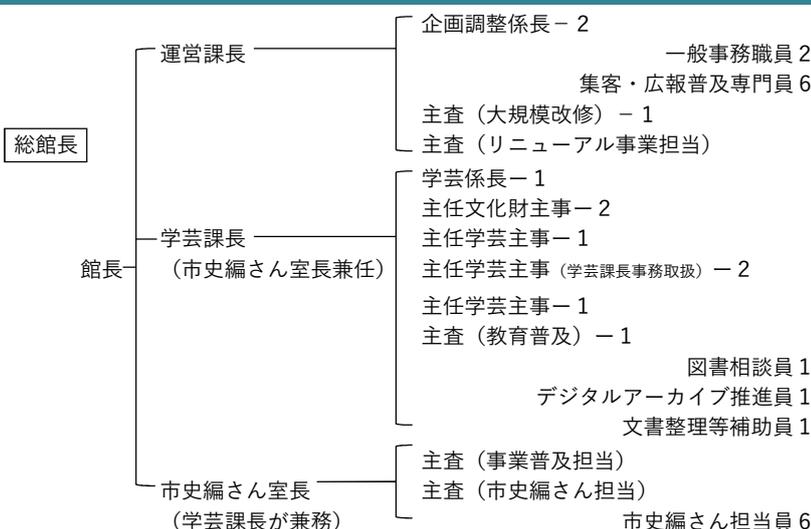


ロビーでのファッションショー開催 (R04.10.31)



玄関軒下での西陵高校管弦楽部コンサート (H21~R2年度)

4. 博物館の組織



教育委員会所管の社会教育施設としても位置付けられている。博物館長と学芸課長は教育委員会と兼務。

【附属機関】

博物館協議会：博物館法に基づく附属機関。博物館の運営に関し館長の諮問に必ずるとともに、館長に対して意見を述べる。



5. 博物館の主な活動

(1) 博物館資料の収集

- 件数 196,909件 (R06.3.31現在)
- 購入 / 寄贈 / 寄託の別がある。
- 市民からの寄贈資料が多い。感謝状を贈呈して顕彰している。
- 購入は(公財)文化芸術振興財団に先行取得し、市が買戻す。
- 収集時には学識経験者の意見を聴取する(資料収集委員会)。
- 文化財保護法上の指定
【国宝】3件 金印「漢委奴国王」、
刀 名物 庄切長谷部、太刀 名物 日光一文字
【重要文化財】7件

6年度実績(見込み)

・寄贈	9,917件	11,345点
・購入	195件	216点

(2) 博物館資料等の保管(保存と収蔵)

- 対策すべき劣化要因: 光への曝露・温湿度変化・生物繁殖…
- 対処: 遮光・温湿度変化の観察と空調管理・清掃・燻蒸…
- 収蔵庫…有効面積2284㎡(建築床面積1672.22㎡)
- 状態のよくない資料の修復

(3) 博物館資料等の展示(別添年間スケジュール参照)

- 常設展示室
テーマ「FUKUOKA アジアに生きた都市と人びと」
アジア諸地域との人・もの・情報の交流がもたらした特色ある歴史と、その歴史が育んだ人々のくらしを11のコーナーを設けて紹介している。博物館資料や埋蔵文化財センター資料の実物のほか、レプリカ、ジオラマ、映像等を駆使したディスプレイ空間となっている。
- 企画展示室…収蔵品や地域の文化財の公開4室ある。テーマを設け、2か月に1度展示替え(企画展)を実施。6月19日をはさんで実施する「戦争とわたしたちのくらし」等の恒例テーマがある。国宝刀剣の公開(1月、2月)も行っている。

(4) 調査研究

- 地域の文化財の歴史上の価値を精査し、資料収集や文化財保護(指定等)につなげている。
- 収蔵資料について、目録作成、データベース構築や画像や3D計測などの記録を作成し、情報資源として集積を図っている。
- 調査研究の成果は、展示・展覧会、市史編さん、刊行物等を通じて市民に還元を図っている。



文化財の調査(写真撮影)

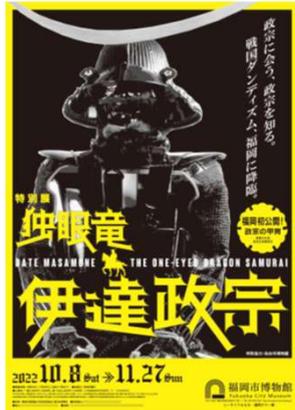
(5) 展覧会等の開催や奨励（別添年間スケジュール参照）

- 特別展示室…第三者が借り上げ、多彩な展覧会を開催している。
博物館も負担金を支出して主催者（実行委員会等）に参画することがある。
1年に1会期程度、博物館の資料収集、市の文化財調査や学芸員の調査研究の成果を活かす「自主企画」の展覧会を実施している。

【自主企画の展覧会】



令和3年度開催



令和4年度開催



令和5年度開催



令和6年度開催

7年度計画

- ・アニメ「鬼滅の刃」柱展～そして無限城へ～（4月24日～6月22日）
- ・芥見下々『呪術廻戦』展（7月12日～9月28日）
- ・ディズニー アニメーションイマーシブ・エクスペリエンス（10月～1月予定）
- ・魔法の歴史スコープ～見つけてみよう福岡の今～（2月21日～4月12日）

(6) 講演会等の開催や奨励－教育普及－・施設の利用

- 小学校等へ出向く出前学習
- 公民館等へ出向いてのワークショップ実施
- 校外学習・修学旅行の受入
- 館内で参加できる体験プログラム

【施設】

- 体験学習室…衣服や玩具など、自由に手に取り体験できる
- 読書室 / 講堂・講座室



体験学習室「みたいけんラボ」



館内の体験プログラム
「みんなのミュージアム」

6年度実績（見込み）	
出前学習	104回（対象：市立小）
おでかけワークショップ	12回（対象：地域団体等）
体験学習	7回（対象：市立小中）
団体見学	57回（対象：団体。数値は市立小の実績）
対話型鑑賞	26回（対象：市立小）

- 博物館実習・・・学芸課程を履修している大学4年次生等を対象に実習を実施している。

6年度実績	
日程	8月20日～8月28日
受入校	青山学院大学、大谷大学、北九州市立大学、西南学院大学、筑紫女学園大学、長崎国際大学、福岡大学、明治大学、立教大学（受入総数12人）

（7）市史編さん事業

- 博物館の収蔵資料や文化財調査の成果と、大学等の研究成果等とを合わせて体系化し、市の歴史を編さんし、書籍として刊行する。
- 「市史だより」やブックレットシリーズなど親しみやすさを企図した広報誌や書籍を発行する。

『新修
福岡市史』



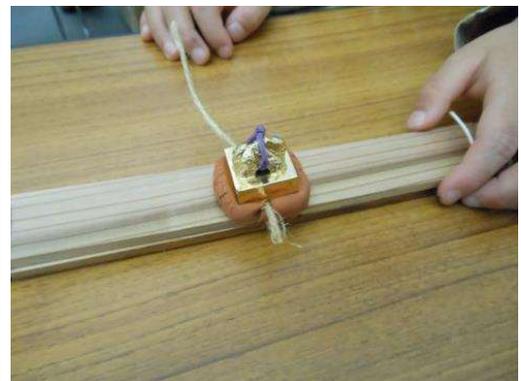
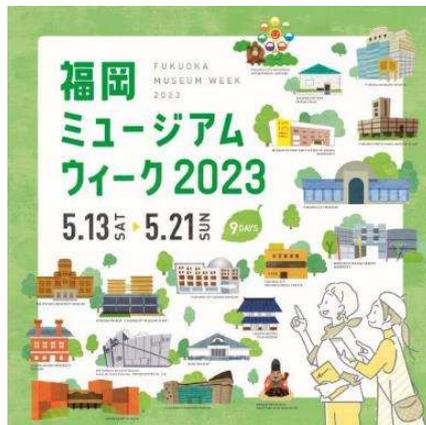
6年度実績	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 「新修 福岡市史」の編さん <ul style="list-style-type: none"> ・ブックレット・シリーズ③ 刊行 ・資料編 近現代③ 頒布 ・ブックレット・シリーズ④⑤他編集 	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 講演会「近代都市福岡の発展と筑豊炭坑家」 <ul style="list-style-type: none"> * 参加者134名 『資料編近現代③』と連動 	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 広報誌「市史だよりFukuoka」第28号 * 特集「立花寺・金隈・浦田」 	
<ul style="list-style-type: none"> ■ 研究誌「市史研究ふくおか」第20号 * 特集「市史講演会⑱、⑲」 	

7年度計画

- 「新修 福岡市史」の編さん
・ 資料編中世③他 ・ ブックレット・シリーズ④⑤他
- 講演会 - 内容未定
- 広報誌「市史だよりFukuoka」第29号 * 特集 小中学校区単位で特定の一地域（未定）
- 研究誌「市史研究ふくおか」21号 * 特集近代都市福岡の発展と筑豊炭坑家

8) 福岡ミュージアムウィーク

- 5月18日の「国際博物館の日」を含めた期間、市内の博物館・美術館が連携して行う企画。
- 令和6年度は5月18日から26日までの9日間開催。
- 博物館においては、「特別展 大 lantern 絵イベントワークショップ lantern をつくろう」や「封泥体験」等を実施。



封泥体験

9) 広報（インバウンド受入環境向上含む）

- 紙媒体の制作、発行、管理（年間スケジュール、広報誌 FACATA等）
- Web自主媒体の運用（サイト、ブログ、X(旧Twitter)、Facebook、Instagram等）
- 市政広報の活用（市政だより、記者資料配布等）

6年度実績（主な広報ツールのみ）（見込み）

- 市政記者クラブ リリース 15回
- 市政だよりへの出稿
・ 記事面掲載 6件 ・ 情報BOX（告知）掲載 23件
- SNS
・ X（投稿数419件／フォロワー33,056人）
・ Instagram（投稿数 82件／フォロワー5,076人）
・ Facebook（投稿数193件／フォロワー4,334人）
・ YouTube（投稿数10件／チャンネル登録者数924人）

6. リニューアルの推進

(1) リニューアル推進の基本方針

設備の更新をはじめとする大規模改修と運営体制の強化により、歴史文化の発信拠点、文化観光の拠点、学びと交流の拠点、文化を次世代へ継承する拠点としての機能向上を図り、福岡市が目指す都市像の実現に貢献する。

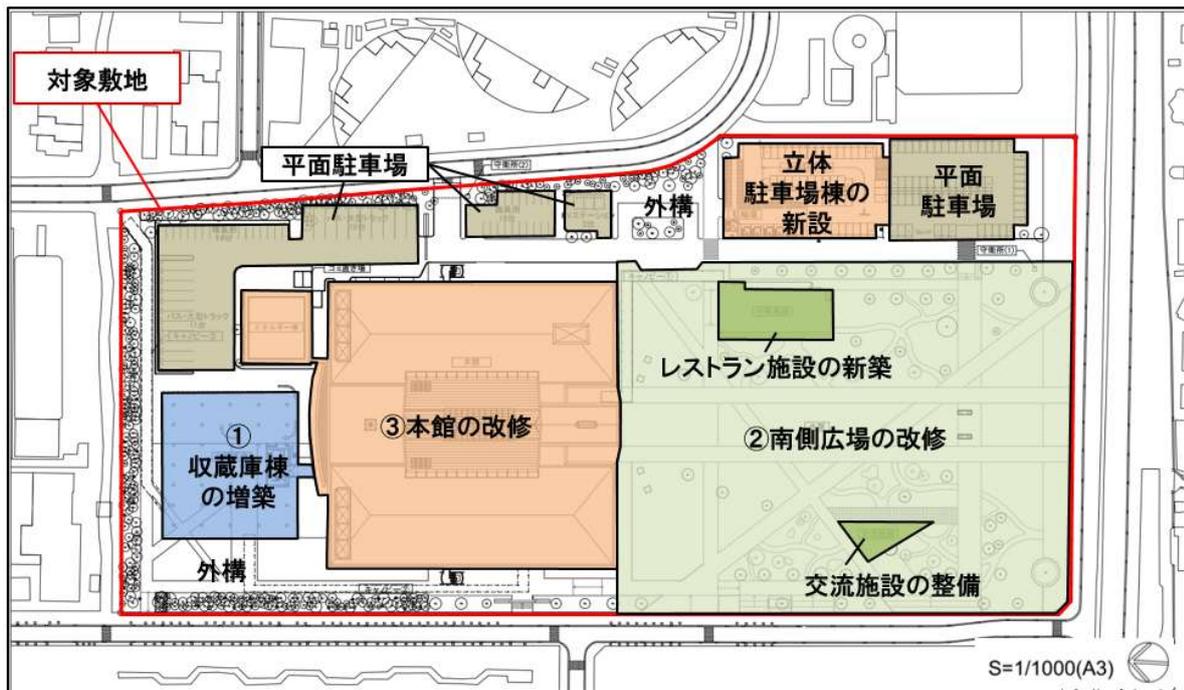
目標1 交流と多様性が創る都市の過去－現在－未来にむかうストーリーを発信する

目標2 すべての人の学び・楽しみを支え、人々の関わり合いを豊かにする

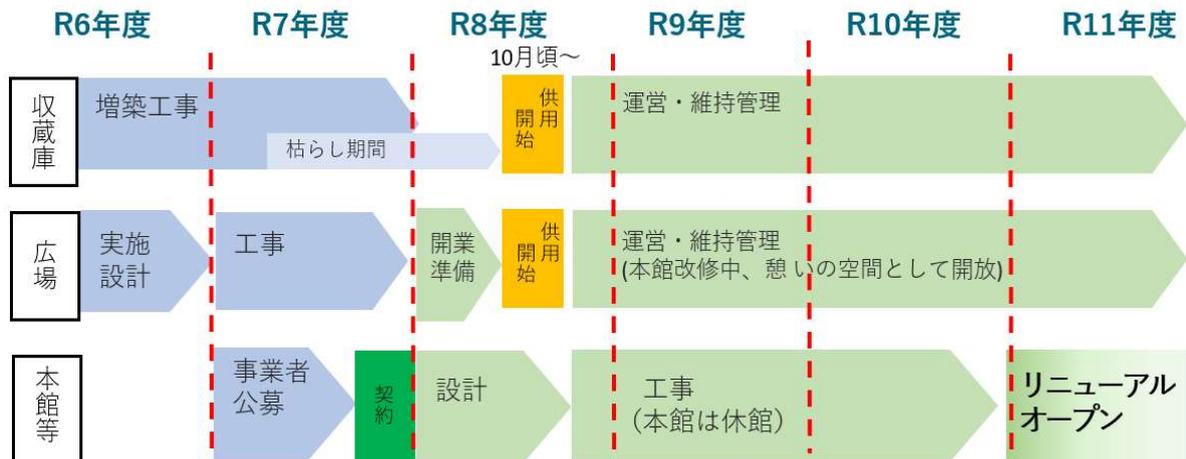
目標3 資産・資源をより有効に活用し、博物館とエリアの魅力を高める

(2) 施設改修の進め方

- ①収蔵庫棟の増築。（令和6～7年度工事、令和8年度供用開始）※市の直接整備
- ②南側広場の改修。（令和7～8年度工事、令和8年度供用開始）※市の直接整備
- ③本館・外構等の改修。（令和8～10年度設計・工事、令和10年度供用開始）※PFI



(3) スケジュール



(4) PFI事業の概要

ア 事業手法

PFI-RO (Rehabilitate Operate) 方式 ※施設を改修し、管理・運営する事業方式

イ 事業期間

事業期間は、事業契約締結日(令和8年2月予定)から令和26年3月31日まで。(18年)

ウ 事業費(債務負担行為限度額)

総額20,784,515千円に物価変動・金利変動による増加額を加算した額を限度とする事業費
並びにこれに対する消費税及び地方消費税の合計相当額

エ 事業者の選定方法

総合評価一般競争入札方式

※入札価格に加え、施設や設備の性能、維持管理における業務遂行能力、事業計画の妥当性等を総合的に評価する。

オ 事業者選定スケジュール

令和6年12月：実施方針・要求水準書案公表

令和7年3月：債務負担行為(議決)、特定事業選定(議会報告)

4月：入札公告

10月：入札書類(提案書)の受付締切

11月：落札者決定、公表

令和8年2月：事業契約の締結(議決)

(5) 南側広場の改修(令和8年10月頃供用開始予定)

南側広場は、地域に開かれた花・緑・水のオアシス空間へ改修する。

- ・通りに面した広場の開放感を高め、サザエさん通りを介した図書館や公園との一体感を高める。
- ・よかトピア通り沿いをセットバックし、周辺との一体性や歩行者の快適性を高める。
- ・よかトピア通り沿いのエントランス部分を花で彩るとともに、広場内に芝生エリアや散策エリアを設け、居心地の良い空間に整備する。
- ・レストラン施設や交流施設(屋根付きの休憩所)を新設する。



7. 集計データ（観覧者数・歳出予算の推移）

■ 観覧者数

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 12月末時点
常設展	31,846	45,820	81,593	109,462	91,468
特別展	97,305	122,687	157,557	381,890	122,875
計	129,151	168,507	239,150	491,352	214,343

※ 開館以来の総観覧者数（令和5年度末） 常設展4,106,640人 特別展8,511,403人

■ 外国人観覧者数（常設展）

地域	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 12月末時点
欧米	114	132	662	1,995	2,120
中国	58	128	449	2,117	2,236
韓国	15	10	1,874	4,308	4,442
その他	74	119	799	3,026	2,807
計	261	389	3,784	11,446	11,605

■ 歳出予算(博物館費)の推移（歳出）

（単位：千円）

区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
予算	1,016,033	352,233	418,523	666,436	1,970,243
（うち施設整備費）	668,318	11,716	43,154	250,030	1,548,011
決算	734,005	333,652	396,537	616,220	—
（うち施設整備費）	417,389	11,315	34,154	232,380	—